

会 議 録

■ 附属機関等の会議の名称

第 1 回篠山・たまみず・岡野幼稚園区における教育・保育のあり方検討会

■ 開催日時

令和元年 8 月 6 日（火） 19 時 00 分から 21 時 00 分まで
受付時間（18 時 30 分から 19 時 00 分まで）

■ 開催場所

丹波篠山市民センター 2 階催事場

■ 会議に出席した者の氏名

- (1) 委員 委員 20 名（うち委員長 1 名副委員長 1 名）
(2) 執行機関 事務局 6 名

■ 傍聴人の数

2 名

■ 議題及び会議の公開・非公開の別

公開

■ 会議資料の名称

- ・ 第 1 回篠山・たまみず・岡野幼稚園区における教育・保育のあり方検討会 次第
- ・ 篠山・たまみず・岡野幼稚園区における教育・保育のあり方検討会設置要綱
(資料 1)
- ・ 篠山・たまみず・岡野幼稚園区における教育・保育のあり方検討会委員構成
(資料 2)
- ・ 会議の公開・非公開について（案）（資料 3）
- ・ 会議録の作成・公開について（案）（資料 4）
- ・ 関係施設の位置図（資料 5）
篠山幼稚園・たまみず幼稚園・岡野幼稚園・ささやまこども園・富山こども園の
各施設概要
- ・ 4・5 歳児の園児数推移
- ・ 3 幼稚園区における子どもの保育先（平成 29 年度～令和元年度）
- ・ これまでの取組経過（資料 6）
認定こども園と幼稚園預かり保育
- ・ 今後の検討会の進め方（資料 7）

■会議次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 委嘱状交付
- 4 委員自己紹介
- 5 協議

(1) 副委員長の互選について

(委員長) 検討会設置要綱に基づき副委員長を決定するが、どなたかどうか。

(委員長) どなたもないようなので、C委員にお願いしてはどうか。

(委員長) 異議なしのためC委員に副委員長をお願いし、検討会を進める。

(2) 会議の公開・非公開について

(事務局) 資料3に掲載のとおり、丹波篠山市付属機関等の会議及び会議録の公開に関する条例により、今回の検討会については、原則公開とし、審議において個人情報を取り扱う場合には非公開としようと考えているがどうか。

(委員長) 異議なしのため、この検討会については原則公開、審議において個人情報を取り扱う場合には非公開とする。

(3) 会議録の作成・公開について

(事務局) 資料4に掲載のとおり、会議の内容を録音し、会議終了後に事務局で要約筆記による会議録を作成する。その後、すべての委員にメールやFAX等の方法で会議録案を送信し、内容確認をお願いする。訂正等の連絡があった場合には事務局にて訂正し、各委員に報告・確認し会議録を確定・公開する。

(委員長) こちらも異議なしのため、資料4のとおり会議録を作成する。

(4) 3幼稚園区における今後の教育・保育のあり方について

(E委員) 資料5を見ると、多くの幼稚園とこども園があるように見えるが、園の位置だけが記載されており、地区全体が地図に載っていない。どのあたりの地区から通ってきているかが記載されていないが、何十分もかかって通園している園児もいる。どこから通っていて、どこに集中しているのか、地図に落とし込むべきだったのではないか。

もう一点は、これまでの取り組み経過の中で、こども園とあわせて保育所も検討していかなければならないと思う。城北畑地区には保育所がなかったので、利用しようと思うと遠くまで行かなければならなかった。篠山・岡野・たまみずと一括りに扱っておられるが、そういったことも、これからは扱ってほしい。

(事務局) 一点目については見やすいように地図を拡大したが、仰るとおり園区のエリア全体が掲載できていなかったのは、配慮が足りず申し訳なかった。次回には、反映させたい。

(委員長) 二点目については、今後の参考にさせてもらおう。今日は、保護者の方の

意見が大切なので、遠慮なく発言してほしい。

- (I 委員) 城北畑地区は幼稚園も小学校もバスに乗って通ってもらっている状態である。それだけでも時間がかかるのに、岡野・篠山幼稚園区に行くにはさらに時間がかかる。送迎にあたっての保護者の負担は大きい。預かり保育を利用するにあたっての保育要件を満たしていても、あえてたまみず幼稚園に通っている人もいる。この園区の子どもは、小学校にあがる時、必ずしも園の友達と同じ小学校にあがるわけではない。自分の子どもの学年が全体で何人いるのかも分からない。他の園区の保護者と話していても預かり保育がないことに驚かれる。市内で平等性を欠いているのではないか。PTAの役員会では、城北畑に出来た児童クラブで預かり保育もやってもらえると思っていたと言っておられる方が何人かいた。そのために4歳児まではたまみず幼稚園に通っていたが、5歳児にあがる時には仕事等の関係で転園した人もいた。子どもにとってはストレスではないか。可能ならば公立の認定こども園をつくってほしい。無理ならば、幼稚園に預かり保育を作ってほしい。
- (G 委員) 資料6の4でこれまでの取り組みを読んでいると、平成25年に検討していたときには公立の幼稚園は廃止ということだったのか。働く保護者も増えてきているのでこども園も重要だとは思いますが、幼稚園教育を受けさせたい保護者もいるので、公立幼稚園がなくなるなら残念。
- (委員長) 廃止ということではない。預かり保育が必要な保護者にはこども園という選択肢があるので、幼稚園では預かり保育は無しにするということになった。幼稚園が必要だという声もあるので、両方行なってきた形である。
- (N 委員) この資料6の平成25年から今に至るまでの約5年間、話は進展していないのか。現状の不満を討論してもしょうがないので、市としては、こども園化を進めるのか、預かり保育を検討するののかという結論に向かって進めていくのか次の検討会までに考えてもらって、それについて検討して進めていく方が良いのではないか。
- (H 委員) 将来的にこども園にするのであれば、預かり保育を作るという話をして時間も無駄になってしまう。
- (委員長) 時間を無駄にするわけではない。皆さんの話の方向性が一致してきたら、自ずと決まっていくが、そうならない場合にはどうするのか考えていかなければならない。平成25年から話は進んでいない状況である。この間に、こども園2園ができ、その一方で幼稚園も必要という声も根強くあったので、どちらも行なってきた形になる。
- (H 委員) こども園になるから預かり保育をしないことになったと資料6ではなっているが、理由としては残念。保護者としては園の特色で園を決めたい。
- (副委員長) すぐにこども園になるわけではないので、幼稚園教育を行ないながら段階的に行っていく。民間の園も頑張ってくれている。この資料で言っているのは、最終的に認定こども園になったときには、預かり保育が不要になるのではないかと、ということ。今後については保護者の皆さんと考えていかなければならないとは思っている。

- (I 委員) 他の地区の方であれば、園区の幼稚園か私立こども園か選択が出来るが、私たちは選択が出来ない状況になっている。私立の園は、本来、独自の教育があるからこそ選ばれるべきだと思う。預かり保育施設がないために民間2園への入園は3園区が優先となっていると聞くが、他の園区の方で民間2園に入園を希望される方にとっては、入れない状況となっている。また、3歳児で1号認定の受け入れを行なっているのは民間の2園だけである。子どもが小学校から「兵庫県の教育」というパンフレットをもらってきたが、それには、県内の多くの園が3歳児から幼稚園教育を行なっていく旨が書かれていたが、園舎の様子を見ると無理だと感じた。3歳児の保護者には、社会性を子どもに身につけさせたいと、1号認定での利用に憧れている方もいるが、篠山・たまみず・岡野の園区ではないから入れないと諦めている方が多い。丹波新聞にも新規入園希望者が大半落選したとあった。もっとその枠を広げてほしい。私たちも選択できないし、私たちのせいで他の園区の入園希望者が入れないのももどかしい。幼稚園と小学校の校長先生が同じであり、幼小の連携を凄く感じている。就学前の1年くらいは園区の幼稚園に行かせたい。預かり保育を作ると私立こども園の経営を圧迫すると聞こえたが、それは本当なのか。
- (S 委員) 経営を圧迫することはないと言ったら嘘になるが、保護者の気持ちを無視してまで確保しようという気持ちはない。資料6の4が率直な意見。幼稚園を潰そうとかそういうことは考えていない。ただ、幼稚園の人数が少ない中、集団の中でどう過ごしていくかの基礎を身に着ける重要な時期を過ごすことが出来るのかは私も心配しているところである。こども園で子どもを集めて、来たるべき小・中学校への準備をとら思っている。定員のことはあるが、色々な地域から来ており3つの地域以外から受け入れていないことはない。優先順位も保育の必要性をみて判断している。
- (R 委員) こちらの園も色々な地域から来られている。定員数の中での検討になるので2・3号認定の申込が多くて1号認定の枠を増やせない。1号認定についてももっと受け入れたいと思うが、園舎の面積等との兼ね合いもあり、今の受入割合となっている。
- (I 委員) 私立2園どちらの園庭開放にも参加して先生方に温かく迎え入れてもらったが、園児が凄く多いので私たちの預かり保育がないことで2園に迷惑になっていないかと思っていた。経営圧迫に本当になるか疑問だったので話が聞けて良かった。
- (D 委員) 保育料無償化のニュースをよく見るが、10月から0～5歳児で行なわれるのか。
- (事務局) 3～5歳児が対象になる。
- (H 委員) 預かり保育も無償化の対象になるのか。
- (事務局) なる。
- (委員長) 私立こども園がいっぱいだから、幼稚園で預かり保育を行なうことで負担を減らしてはどうか、というように聞こえたがそれは実態なのか。
- (H 委員) 実際、どれくらいの子どもの断らないといけない状況なのか。
- (S 委員) 現在、来れば来るほど断る状況となっている。1号認定に至ってはくじ

引きになっている。こども未来課と連携し、入園の緊急性・必要性等を配慮し相談してやっている。

(R 委員) 申込に関してはこども未来課が市一括で管理している。市全体として保育所も認定こども園もどこもかなりいっぱいではないか。

(S 委員) 幼稚園で預かり保育を行なうことは難しいので私立こども園でどうにかならないか、と言われれば行なう覚悟ではいる。そうなれば園舎の増築等も検討している。

(E 委員) 確認したいが、預かり保育をやらないというのは市の決定事項なのか。

(委員長) そうではない。それは平成25年の検討時のことである。見直しもありうる話である。

(G 委員) 預かり保育を行わなければ、篠山幼稚園はいつか0人になるのではないか。経営等の難しい話になると分からないので、そういったことは、トップで話してほしい。私たちはただ幼稚園で預かり保育を行なってほしいという願いだけである。また、今後についての方向性を示してくれるとスムーズなかな、とも思う。皆結局、篠山中学校にあがるので、こども園も幼稚園も仲良くしていきたい。

(委員長) 平成28年に味間こども園をつくり、保護者の方からは預かってもらえるならばと大方賛同いただいた。また、この春からたきこども園も開園した。この地区で何が問題かという、私立こども園でもきめ細やかな教育が行われるのに、幼稚園もあり、そこに預かり保育もあるとなると、今後こども園と幼稚園は両立していけるか、という問題になる。これだけの施設がこの地域に併存しているのは、将来的な姿としてはどうなのか、という問題意識はある。

(E 委員) 地域のコミュニティで子ども達を見ていこう、子ども同士のコミュニケーションや発達を考えようとする中、子どもが分散されてコミュニティがばらばらになっていくのではないかという不安もある。

(A 委員) 私の意見では、対象地域が広いというのは今後考えなければならないが、私立こども園が2園あることもあり、公立こども園をこの地区に建てるとするのは難しいと思っている。公の施設も置いておいた方が良いということで、今まで共存している形だが、保育・教育の中身については公立も私立も特徴はあるにしても同じようにしている。

(H 委員) 友達を多く作りたいからという理由だけで、こども園の1号認定に行きたい人もいる。

(I 委員) 夏季休業中のお弁当の負担や、PTAの負担等を考えてこども園を選ばれる方もいるし、預かり保育がないから仕方なく選ばれている方など色々いらっしゃる。なので、仕方なくの部分だけでも減らせればと思う。転入された保護者の中には、どこに行けば友達が多くできるか不安な方もいる。幼小の連携とよく言われているが、小学校併設の幼稚園がなくなることでどうということになるのか、教育委員会で結論を出していかなければいけないのではないか。

(委員長) なぜ人数が少なくても幼稚園に行かせたいと思うのか。

(N 委員) 親のエゴではないか。幼稚園ブランドに通わせたいけれど、はっきりそう

言えないから色々言葉を変えた結果、幼稚園で預かり保育をしてほしいとなったのでは。こども園が良いのか、それとも幼稚園が良いのか、優劣をつけるような話になっている。人数論で行なうのであれば出生数は分かると思うので、そこからこの地区にこども園が今後必要なのか等を検討していけば良いのではないか。税金という公金を使ってどうしていくのか考えなければならない。新しい施設を作るのか、今あるものを使ってバスで送迎して行かうのか、など考えれば良いのではないか。

- (委員長) 幼稚園もこども園も同じ教育である。私立こども園だから学校との連携ができない、教育が不十分であるというのであればどうかしていかなければならないが、人によってそのあたりの思いは違ってくる気がしている。
- (N委員) この10年で親の働き方も変わったし、核家族も増えた。市の方向性を示してもらえれば、それに沿って検討していける。
- (M委員) 自分は働き、子どもはささやまこども園に通っていたが、小学校に入学させるときは他のところから何人くるのか等全体像が全然分からず、不安だった。実際に行ってみると、皆さん良い人ばかりだった。なじんでいたの、私はそのままで良いのではないかと思う。
- (副委員長) 小学校では、私立こども園から来た子はどんな様子か。
- (P委員) まず、反省しているのは、年間目標や方針等を私立2園に情報提供していなかったのはいけなかったと思う。抽象的な言い方にはなるが、園児たちがやりにくそうにしている部分はあった。
- (Q委員) こちらでは、幼稚園のときから大人数でも過ごしていけるよう、富山こども園等と交流は行なってきた。子ども達を見ていても、やっていけているようなので、成果はあったかなと思っている。配慮は必要である。
- (R委員) 小学校との連携は考えているし、していくようにしている。配慮は必要だと思っている。
- (副委員長) 小学校との連携はやはり配慮が大切となってくるので、先生方にはこれからも配慮していただきたい。
- (J委員) 自分の子どもには友達をつくってほしいと思う。たまみず幼稚園は少人数だが、預かり保育を作れば、たまみず幼稚園に行こうという選択肢ができるかもしれない。あまりないかもしれないが、たまみず幼稚園に入園した後に、家庭状況が変わり働こうと思うと私立こども園へ転園になってしまう。他の園ではそういったことは起きない。幼稚園に預かり保育施設を作っても良いのではないか。
- (F委員) すべての保育園幼稚園をこども園にするという方針があるが、実現できずにほとんどの幼稚園が存続している状況である。幼稚園を存続していくのが市の方針として今あるのであれば、預かり保育の希望に沿って充実させていくのが良いのではないか。
- (K委員) だいたいのビジョンを示してもらった方が話しやすい。私は母が働いて寂しい思いをしてきたので、妻には子どものそばにいてほしいと思う。なので、預かり保育は不要だと思う。
- (L委員) 上の子と下の子が私立こども園に通っていたが、下の子が一度、「友達がたまみず幼稚園に行ってしまったと」寂しそうだったことがあった。しか

し、私立こども園も小学校と連携してくださっていて、子どもも楽しそうなので十分なのかな、とも思う。ただ、味間こども園には預かり保育（長時間保育）があって人がたくさん来ているので、たまみず幼稚園にもあれば人が来てくれるのかな、とも思う。子どもとしては今のままでも良いが、親としては預かり保育があっても良かった。

（Ｓ委員）預かり保育が出来たら私立こども園の経営が圧迫されるのではないかとご心配いただいたが、そのことは全く考えていただかなくてもよく、預かり保育が必要であるかどうかだけである。もし預かり保育が出来たことで私立こども園の人数が減ったとしても、４・５歳児を呼び戻せるようシフトしていきたい。それを踏まえて検討してほしい。

（Ｏ委員）確かに子どもの人数が多いところで揉まれて過ごすのも良いと思うが、今の篠山幼稚園を見ていると少人数でも楽しく子ども達は過ごしているので、それでも良いのかな、と思う。答えはなかなか出ない。最初の戸惑いはあるかもしれないが、それはそれで良いのではないか。

（委員長）次回、何案かのたたき台をもとに検討を進める。

6 その他

特になし。

7 次回の開催日

令和元年 9 月 予定

8 閉会